

米商進路だより

令和4年11月28日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第22号）

《 オワりはじまり！ 》

11月25日（金）に就職実現セミナーがグランドホクヨウで開催され置賜管内の企業が50社程集結し企業説明会が行われました。2年生を対象に行われましたが、企業の採用担当者は既に次年度の採用計画を立て始めたところがあります。職種は「事務」で、高卒を育成したいという強い想いを持っており、仕事内容や給与（ベースアップ）も含めて社会情勢を見極めて決断したいという話でした。

さて、会場で久しぶりの再会がありました。企業ブースの企業採用担当者の話を聞いていたところ唐突に「先輩！」という声をいただきました。あまりにも久しぶりで分らなかったのですが、現在山形県内では唯一の福祉車両専門店を運営していて障がいを持った人の専用の自動車を開発している話に聞き入ってしまいました。車を「乗る人・乗りたい人・乗せたい人」に合わせて提案してくれるというのです。

私は知らなかったのですが、障がい者用の車は本人が運転できるように「改造」することができるそうです。そして、車を引き渡したときの本人や家族の「ありがとう」という感謝の気持ちは、「仕事をやってよかった」「人のために役立った」という達成感と成就感、ときには納品の時に嬉しさのあまりに涙が溢れる等、「今の仕事にやりがいを感じている」という話を聞いてとても感動しました。

現在は日本福祉車両協会の認定インストラクターの資格をお持ちであり、本校のキャリア教育で講演会を開催するので講師をしてくださいかとご相談したところ快諾をしていただきました。山形県内では、福祉車両のシェアは僅か0.08%しかないそうです。しかしながら、山形県内唯一の専門店であるという強みを活かし事業を展開している企業が米沢にあることを知ることができて、ご縁に感謝したところです。



参加した2年生の真剣な眼差しに企業の皆様から「是非米商から！」という話も頂きました！

《 勉強をしておくべき！ 》

11月24日（木）に2年生が進路講演会を実施いたしました。講師は全国各地で講演会を実施していて進路指導業界では「タレント」の横関信太郎氏です。3年生も2回講演を聞いて進路達成のための“きっかけ”をいただきました。本校では、2年前からお世話になっていますが、その中で出てくるキーワードが「オン」と「オフ」の区別をつけるという話です。皆さんはこの切り替えがしっかりと出来ていますか???

そして、「お金」と「時間」の約束は絶対という話が印象的でした。特に、時間の約束は提出物に置き換えて話をいただき、分かりやすく説明をいただきました。期日があるのに間に合わせることが出来ない…。様々な事情があるにしても、やるべきことを丁寧にするのは高校生に求められる“学び”なのです。社会人になる前の礎を築くためには、今からやるべきことがあるのです。

下記の感想は自己分析が出来ているとともに自己肯定感を表現している素晴らしい感想なので皆さんに紹介をさせていただきました。自己分析をするのは簡単なようで案外難しいことです。進路を達成するには、横関先生の話にもありましたが「仕事は「好き」だけではなく、仕事の「向き、不向き」を理解して、「やらされている」のではなく「やりがいを感じる」ことが大事であるという話を覚えておきたいものです。

《 感想 》

高校を卒業すると自己責任の範囲が広がってしまうという言葉が心に響きました。頭の中では分かっているつもりでした。しかし、改めて言葉として耳にしたときに、焦りや不安などといった様々な感情が溢れてきました。それは、まだ将来の自分に対する意識の低さと覚悟の足りなさが原因であると思いました。だからこそ、将来の自分がどうありたいのかをしっかりと考えて、やるべきことに真剣に向き合っていきたいと思います。

勉強や高校生活がどれほど大切なのか、仕事というのはどのようなことなのかよくわかりました。また、講師の先生が数学を理解している人は、仕事が速いとおっしゃっていて、私は数学が大の得意で理解していると思うので社会人になったら仕事が速くなれるかなと思いました。自分で考えて行動したいと思います。



本日が1・2年生の進路希望調査提出日になっています。保護者の皆様と相談をしてきたと思いますが、担任の先生との面談等を活用し今後の学校生活を送るうえで目標を明確にしてください。そして、12月1日（木）から期末考査が始まります。これまでの学習の成果を発揮するのがテストであり、習うより慣れろの精神を保ち学習時間を確保してください。